

## 税金の使い方変えて「公助」こそ最優先の千葉県に

— 豊かに安心して住み続けられる千葉県に大きく転換 —

2021年1月18日 憲法がいきる明るい千葉県をつくる会

### はじめに

県政の最優先の課題は、県民のいのちと暮らし、安全を守ることです。しかし、これまでの県政の下で、医療、福祉、教育、くらしのどれを取っても全国最下位クラスになってしまっています。— 昨年災害やコロナ禍の下で、こうした状況が県民のくらしや安全をさらに脅かすことになっています。何でも効率性や採算性のみではかり公的サービスを縮小することは、結局、私たちのくらしや安全を後退させ危険にさらすことにしかならないことが明らかになったのではないのでしょうか。

私たちが大変な思いで税金を納めているのは、採算性があわなくても、儲けにつながらなくても、いのちやくらしや安全を守るためにやらなければならないこと、充実しなければならないことに充ててほしいからではないのでしょうか。千葉県の財政力は全国4位（総務省統計局「統計でみる都道府県のすがた 2020」より）です。この財政力を県民のくらしを充実させるため、安全を守るために優先的に使えば、全国でもトップクラスの安心して住み続けられる千葉県にすることは十分に可能です。

要は税金の使い方です。「明るい会」は、皆さんが大変な思いで納めている税金で成り立っている県の予算を、県民の皆さんが豊かに安心して住み続けられる千葉県にするためにこそ最優先に使っていく県政に大きく転換していきます。自助や共助が優先されるのではなく、「公助」こそ最優先にする県政に転換していきます。

県内すべての労働者、青年、学生、女性、高齢者、医療・福祉関係者、商工業者、農林水産業者のみなさんが安心して暮らしていけるよう、「一人も取り残さない」県政実現に向け、県民のみなさんと対話を深めながら県政をガラス張りにし、県民のみなさんと力あわせて持てる力をすべて発揮します。

### 1. 新型コロナウイルスから県民のいのちとくらしを守りぬきます

- ①PCR 検査体制の整備充実と検査費用の負担軽減を実施し、安心して必要な検査が受けられるよう対策を講じます。また、県内の医療・介護、福祉従事者の定期的な PCR 検査を市町村とも連携しながら社会的検査として実施します。
- ②患者・感染者を受け入れる医療施設、宿泊施設の確保と調整をはかり、入院入所の受け入れに施設間格差や地域間格差が発生しないようにします。
- ③新たに人員を採用し、県内の保健所の増設・充実をはかります。
- ④県内の医療機関や介護施設、医療・介護従事者をつぶさないために、煩雑な手続きを必要としない財政補填、待遇改善金を速やかに支給します。
- ⑤コロナ禍の下で、減収に苦しむ農業・漁業者、中小零細事業者の営業を維持するた

め、雇い止めや労働時間削減で苦しむ県民の暮らしを守るための補償を実施します。  
⑥県内保健所や市町村、医療・介護・福祉関連団体もメンバーにした、コロナ対策本部を設置し早急な感染終息をはかります。

⑦コロナ禍の下で、アルバイトのシフト削減・雇い止め、仕送りの減少している大学生・専門学校生が安心して学び続けられるように、食糧支援やオンライン授業を受けるために必要な機器の貸し出しなどの支援を行います。

## 2. 災害に強いまちづくり、早急な復興復旧をはかります

①住民の皆さんの要望も聞きながら、昨年の台風被害からの早急な復興をはかるため、財政的・人的に支援を強化します。

②被災者のプライバシーを守る避難所の準備、日頃からのインフラ整備と被害を受けた場合の短期復興を可能とする関連事業団体との連携再構築等、災害対策・準備を県政の柱の一つと位置付けます。災害対応の専門的知識と技能を有する職員の育成に取り組み、被災市町村への支援体制、そのための県職員派遣システムをつくりま

## 3. 県予算を医療や福祉、教育、災害対策の充実に最優先に使い県民誰もが安心して住みやすい千葉県にします。県民のいのちや暮らしに関わることは県の責任で取り組みます。

①看護職員養成校の増設、就学資金の増額、介護職員への待遇改善に直結する財政支援等に取り組み、医師、看護師、介護職の大幅増員に早急に取り組みます。

②高すぎる国保料を引き下げ、安心して医療にかかれるよう県費の繰り入れをおこないます。

③保健所、児童相談所・女性相談窓口の人員増・増設、住民サービス向上のために必要な県職員の人員増をすすめます。

④公立・公的病院の存続・充実ははかることを基本に、国から押し付けられた地域医療構想に捉われず、地域に必要な地域医療構想を住民や医療関係団体と相談しながら策定します。

⑤公立保育の、民営化にストップをかけます。保育士の賃金改善のため、県単独補助を増額します。民間・無認可保育所への県費補助を拡充します。

## 4. 子どもたちがのびのびと健やかに成長するための教育を実現します

①ひとり一人の子どもに目の行き届いた教育を実現するために、県の教育予算を増額し、正規教職員の大幅増員、講師確保のための待遇改善をはかり、早急にすべての小中学校での25人以下学級を実現します。

②子どもの「こころ」のケアを重視し、養護教諭・スクールカウンセラーなどを増員します。

③子どもの貧困と教育格差解消のため、父母の教育負担を軽減します。県独自の奨学金制度を新設します。

## 5. 県内の農業・漁業、営業と事業を守り、雇用を守り生み出します

- ①農魚産物の県独自の価格・所得補償制度の創設、地産地消のさらなる推進など、就農・魚・林業支援制度の創設など、県内の農・漁・林業を守り、次世代の担い手づくりにつなげます。国連が定めた「家族農業の10年」に基づいた施策を具体化します。
- ②公共工事・事業を、県民のくらしや環境を改善し、災害対策となるものを最優先にします。地域の中小零細事業者への優先的発注を強化し、地元業者を元気にし新たな県内雇用の創出にもつなげます。
- ③公共工事受注の業者と労働者を守る、公契約条例の制定をめざします。
- ④地域商店街活性化のための予算を増額します。

## 6. ジェンダー平等、誰もが自分らしく生きられる社会をつくりま

- ①ただちに男女共同参画条例を制定し、ジェンダー平等社会を実現する先頭に立ちます。
- ②県の意思決定の場への女性の参画比率を高め、男女比率の均等化をはかります。
- ③LGBT・性的マイノリティーの人権擁護、性暴力被害者支援を徹底・充実します。
- ④あらゆるヘイトスピーチ・行為を許さない、ヘイトスピーチ・行為禁止条例を制定します。

## 7. 県民の財産である環境を守り災害から県民を守ります

- ①2050年までに温室効果ガス排出量をゼロにするための「千葉県脱炭素計画(仮)」を策定します。計画策定にあたっては、積極的に県民参加をすすめ、計画策定に取り組むことで持続可能な開発目標SDGsの達成をめざします。
- ②脱原発を基本にし、100%再生可能エネルギーを実現します。石炭火力発電の縮小をすすめます。
- ③温室効果ガス排出量ゼロをめざし、樹林地の保護、森林・農地の保全をすすめ、県内の緑地を増やしていきます。

## 8. 憲法と平和を守り戦争につながる動きに反対します

- ①憲法9条をはじめ日本国憲法を守ります。憲法改正ではなく、憲法を県民のくらしの隅々に活かす立場で県政に取り組みます。
- ②自衛隊木更津基地へのオスプレイ配置に住民とともに反対します。幕張メッセでの武器見本市開催を止めさせます。自衛隊習志野基地での日米合同パラシュート訓練に反対します。

## 9. 平和と県民のくらしを守るため国にも堂々と求めます

- ①国の公立病院の統合・再編計画、地域医療構想、縮小・再編を求めた460病院リストの撤回を求めます。医療・介護、福祉の充実のための国の財政支援強化を求めます。

- ②雇用とくらしを守るため、中小零細企業・事業に対する支援を強化しながら最低賃金を1500円以上に引き上げるよう国に強く求めます。
- ③給付型奨学金の拡充、高校授業料無償化の復活を国に求めます。
- ④消費税を当面5%に引き下げ、段階的に廃止することを求めます。
- ⑤選択的夫婦別姓制度、同性婚制度の法制化を求めます。
- ⑥国連の核兵器禁止条約が2021年1月22日に発効されることを歓迎すると同時に、唯一の被爆国として国に対して批准するよう求めます。